

境川で命の水を追いかける

山武北小学校5年校外学習

学区内に境川の源流を持つ山武北小学校の5年生38人の児童は、6月19日、川の源流から海まで歩く、校外学習をしました。この学習は、19、20年度「文部科学省指定豊かな体験活動推進事業」の一環として行われ、指定の終わった今年も実施されました。川の流れをたどりながら、地域や自然環境を学ぶ中でたくさんの人々と交流を持たせようと北小学校で考えられたものです。川沿いを歩きながら、命の水が流れる川のゆくえを知り、友だちと協力しあいながら目的を成し遂げることの素晴らしさに気づいてほしいと実施されています。石井先生は、「貴重な体験なので、今後も可能な限り続けたい」と話します。この日は、海までの半分を歩きました。後日、残り半分の海まで辿り着いた後は、体験したことを作文や新聞にまとめ、総合的な学習の時間の中で発表します。



草露で靴が汚れてしまったことも気にせず、元氣よく歩いて行きます



わたしの握力はどのくらいあるの!?

わたしの体力どれくらい

体力テスト

体力テストは、自分の体力年齢を知り、今後の健康増進に役立ててもらおうと、6月21日、さんぶの森中央体育館で実施しました。市内在住の老若男女42人が参加し、握力、上体起こしなど10種目で測定。初参加の女性は、「60歳を過ぎて、自分の体力がどれくらいなのか再確認しようと、知人と参加しました。今回を機に、健康管理を見直そうと思います」と話していました。また、同時開催のらくらく運動講座『頑張らない運動で美しい姿勢を取り戻そう』では、講師と参加者が一緒に体を動かし、講座後には全身がほぐれ、参加者は驚きの表情を見せていました。

目に見えない微生物の力

「EMだんご」で水きれい

社会福祉作業所の皆さんは、自分たちの手で作ったEMだんごを木戸川中台橋の脇にある水路へ投げ込んでいきました。乳酸菌や酵母など有用微生物を発酵させて作るEMだんごは、川底のヘドロを分解し、水質浄化に効果があるとされています。今回は、ソフトボール程の大きさのEMだんご約250個を、1㎡あたりに1個ずつ、およそ1kmの範囲に次々と投げ込んでいきました。

【EM】有用微生物群 (Effective Microorganisms) の頭文字からつけられた造語で、微生物の中でも、人間にとって有用な働きをする、いくつもの種類の有用微生物を効果的に組み合わせたものです。



きれいな水に生まれ変わってね